

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	プレゼンテーション I		（ TCR202 ）
講義名（コード）	TCR_プレゼンテーションI_D		（ TCR202D ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	酒井 京子	時間数	30
成績評価教員	酒井 京子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	前期は主に面接に必要な日本語力について学んでいく。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1		オリエンテーション（自己紹介・授業の説明）
2	エッセイの読解を通して他者の思考を読み解くことができる。	話す書く初中級10課 内容把握 面接練習
3	他者の考えについて客観的に意見を述べることができる。	話す書く初中級10課 発展 面接練習
4	他者の意見を踏まえた上で、自分の意見を話すことができる。	話す書く初中級10課 発表 面接練習
5	段落ごとに何が書かれているのか把握できるようになる。	話す書く初中級11課 内容把握 面接演習
6	マインドマップを使って意見をまとめることができる。	話す書く初中級11課 発展 面接演習
7	ポイントを整理しながら自分の意見をまとめることができる。	話す書く初中級11課 発表 面接演習
8	理系分野の文章も意味を調べながら把握することができる。	話す書く初中級12課 内容把握 面接演習
9	論理的な文章構成の型を使って作文を書くことができる。	話す書く初中級12課 発展 面接演習
10	論理的に自分の意見を話すことができる。	話す書く初中級12課 発表 面接演習
11	テーマを把握して適切な回答をする力を身につける。	面接総合練習
12		面接総合練習
13	前期定期試験	
14	前期定期試験解説	
15		前期の総復習

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	話す書く初中級、面接ワークブック
参考文献・資料等	
備考	シラバスの内容は順番が前後することがあります。